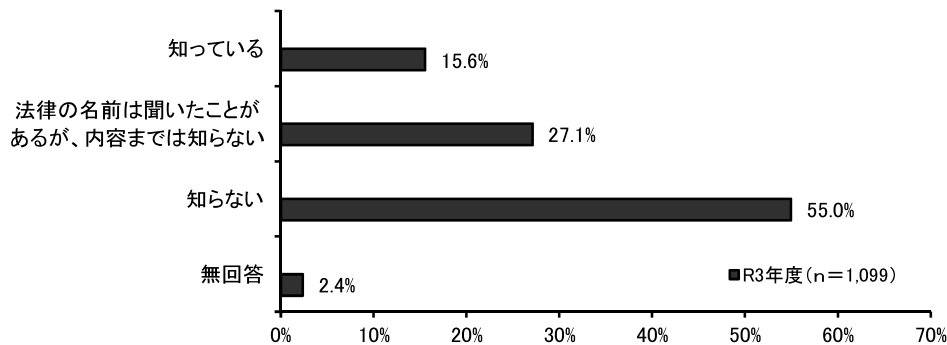


3-6 部落差別（同和問題）について

（1）部落差別解消推進法の認知度

問16 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」を知っていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

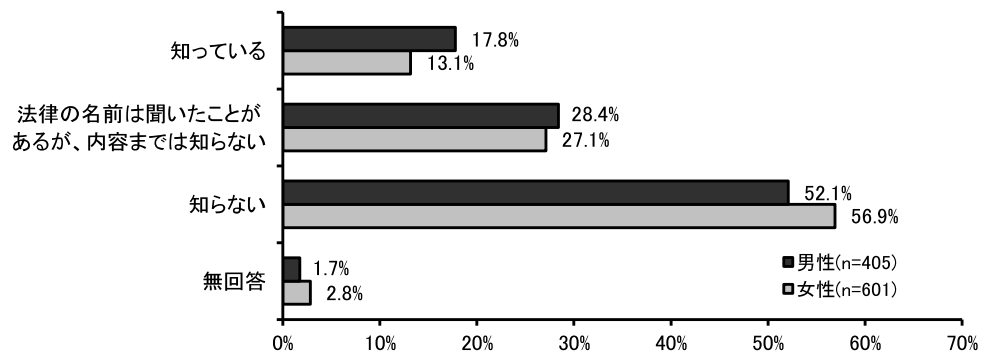


■「知らない」が55.0%と最も高く、次いで「法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が27.1%、「知っている」が15.6%の順となっている。

【前回・前々回比較】

※新たに追加した質問のため、比較はできない。

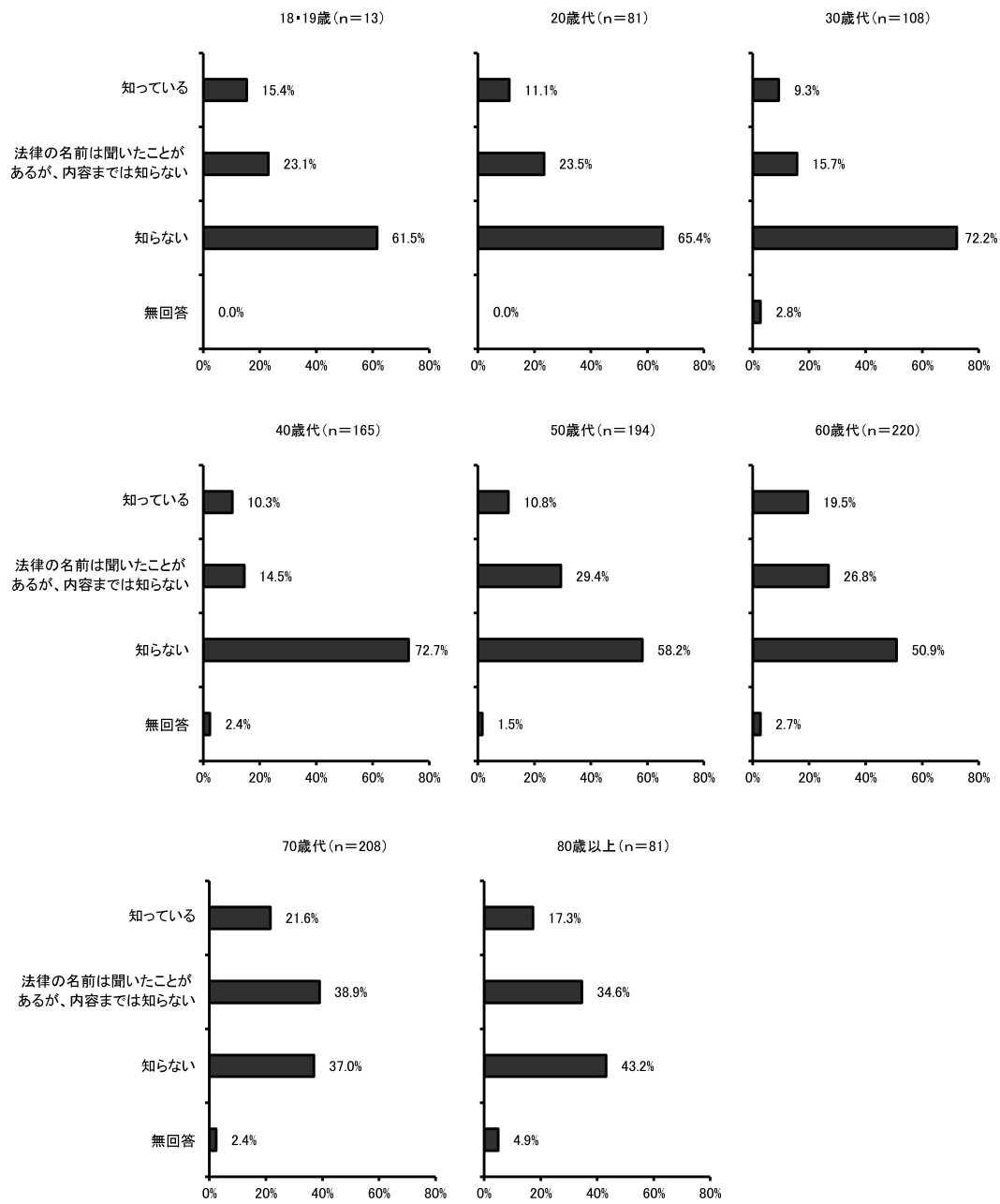
男女別



■男女共に「知らない」が最も高く、5割を超えている。

■「知っている」は、男性が17.8%で女性より4.7ポイント高くなっている。

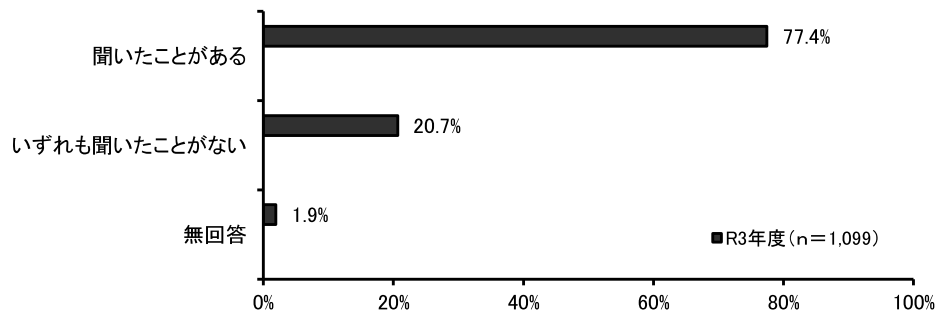
年代別



■ 「知っている」が、60歳代以上は50歳代以下に比べて高くなっている。

(2) 部落差別（同和問題）の認知度

問17 「部落差別」又は「同和問題」という言葉を聞いたことがありますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

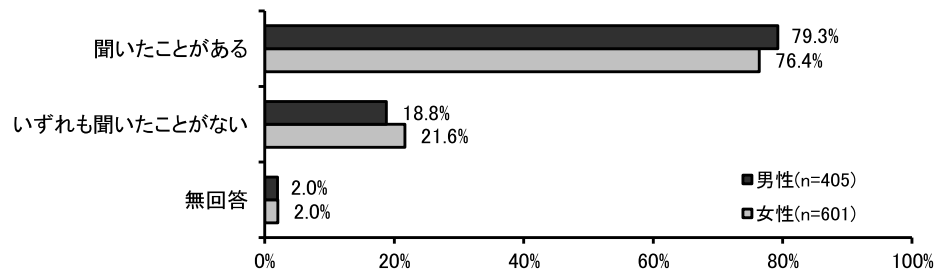


■「聞いたことがある」が77.4%と高くなっている。

【前回・前々回比較】

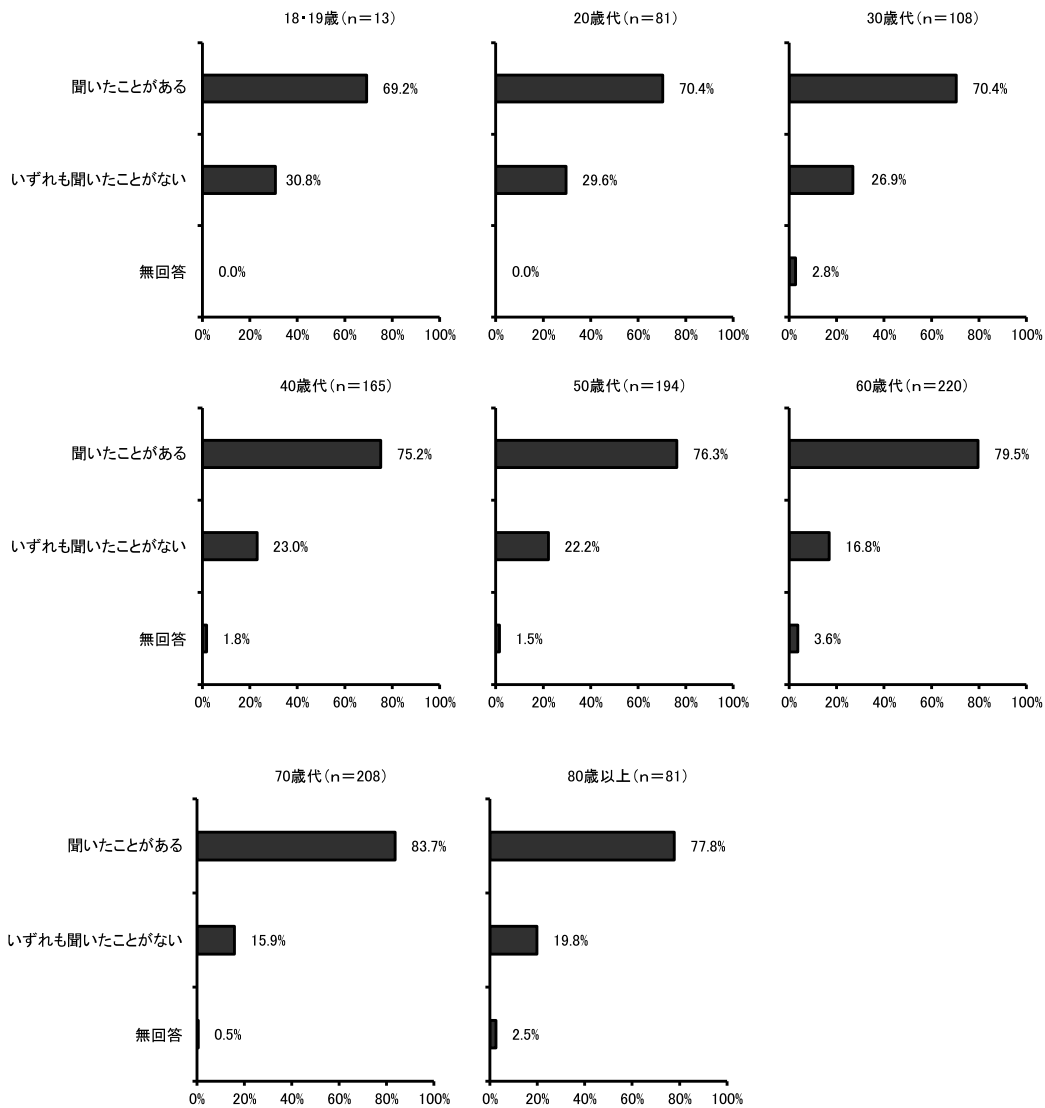
※新たに追加した質問のため、比較はできない。

男女別



■男女共に「聞いたことがある」が高く、7割を超えている。

年代別

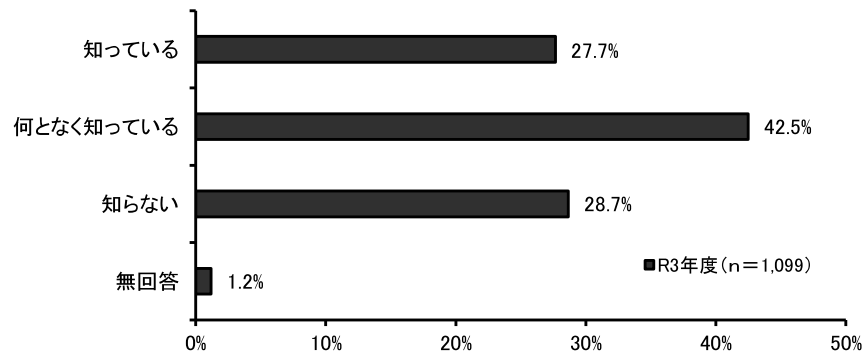


■ いずれの年代においても「聞いたことがある」が高くなっている。

■ 「聞いたことがある」は、40歳代以上は30歳代以下に比べて高くなっている。

(3) 部落差別（同和問題）の理解度

問18 部落差別又は同和問題といわれているものがどういう内容のものか知っていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。



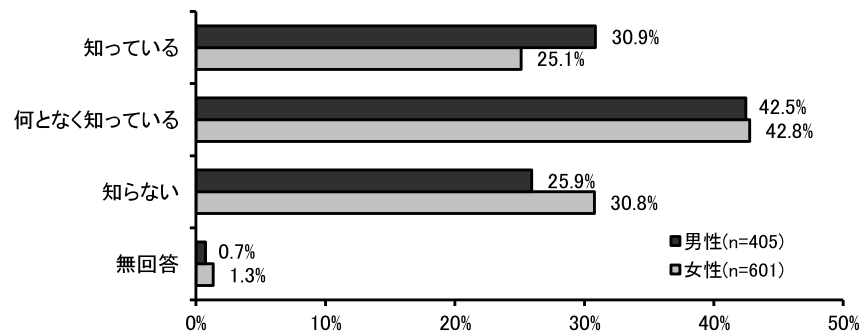
■「何となく知っている」が42.5%と最も高く、次いで「知らない」が28.7%、「知っている」が27.7%の順となっている。

■「知っている」と「何となく知っている」を合わせた“知っている”は70.2%となっている。

【前回・前々回比較】

※新たに追加した質問のため、比較はできない。

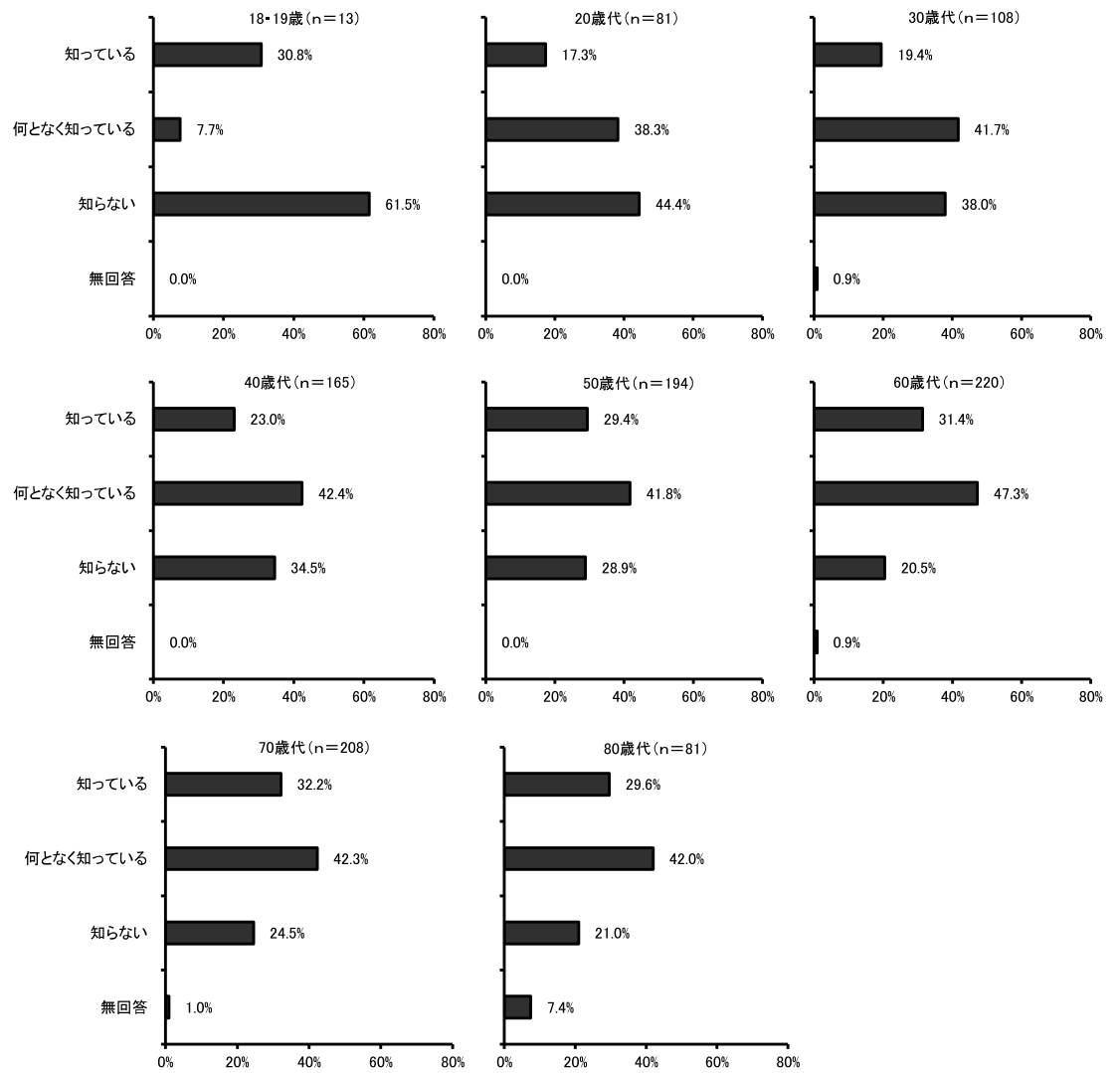
男女別



■男女共に「何となく知っている」が最も高くなっている。

■“知っている”は、男性が73.4%、女性が67.9%と、男性が女性より5.5ポイント高くなっている。

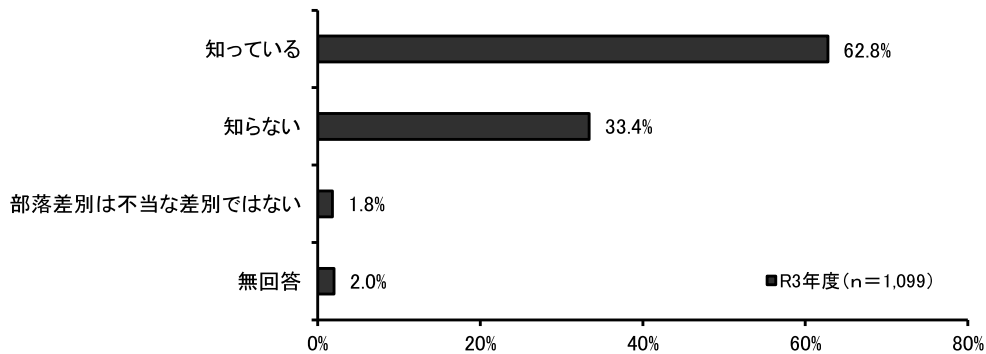
年代別



- 20歳代では「知らない」が、それ以外の年代では「何となく知っている」が最も高くなっている。
- “知っている”は、50歳代以上で7割を超えているが、40歳代以下は若い年代ほど低くなっている。

(4) 部落差別（同和問題）の捉え方

問 19 部落差別が不当な差別であるのを知っていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

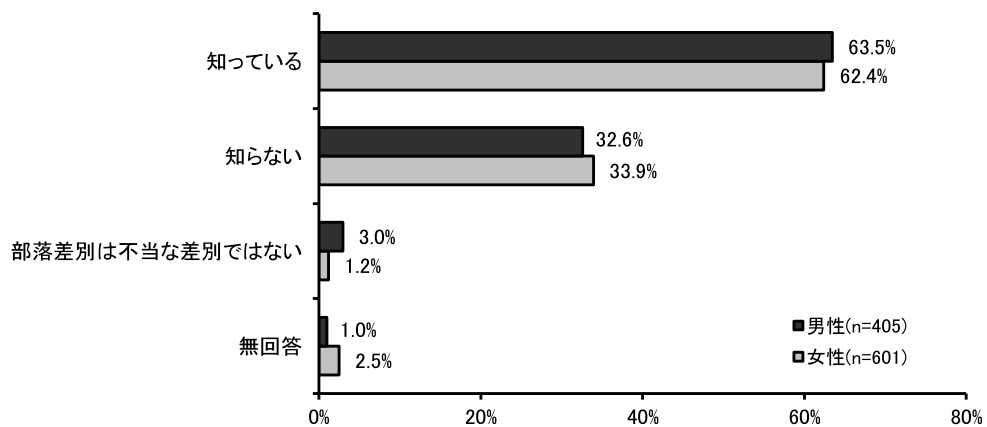


■不当な差別であるのを「知っている」が62.8%と最も高く、次いで「知らない」が33.4%、「部落差別は不当な差別ではない」が1.8%の順となっている。

【前回・前々回比較】

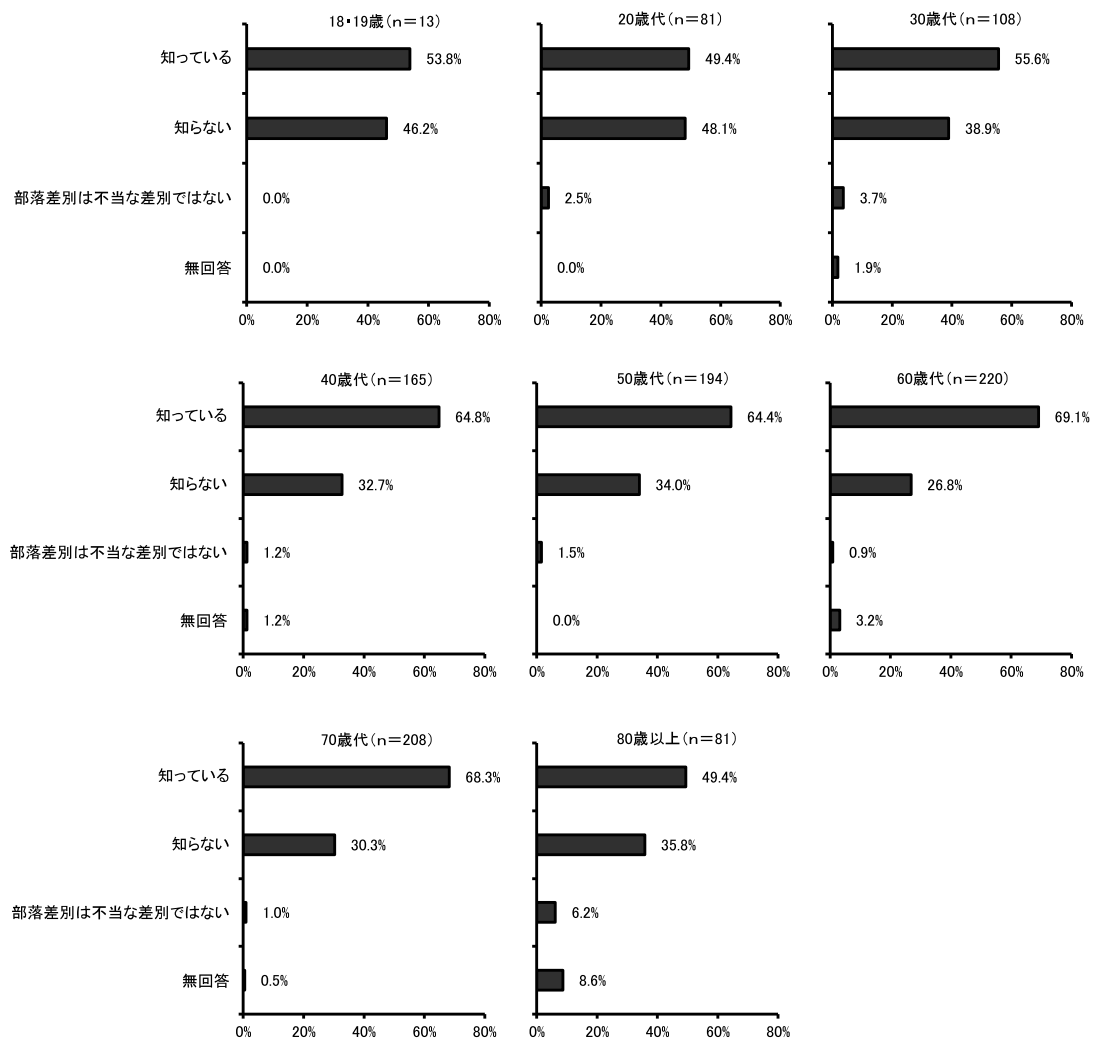
※新たに追加した質問のため、比較はできない。

男女別



■男女共に不当な差別であるのを「知っている」が最も高く、6割を超えている。

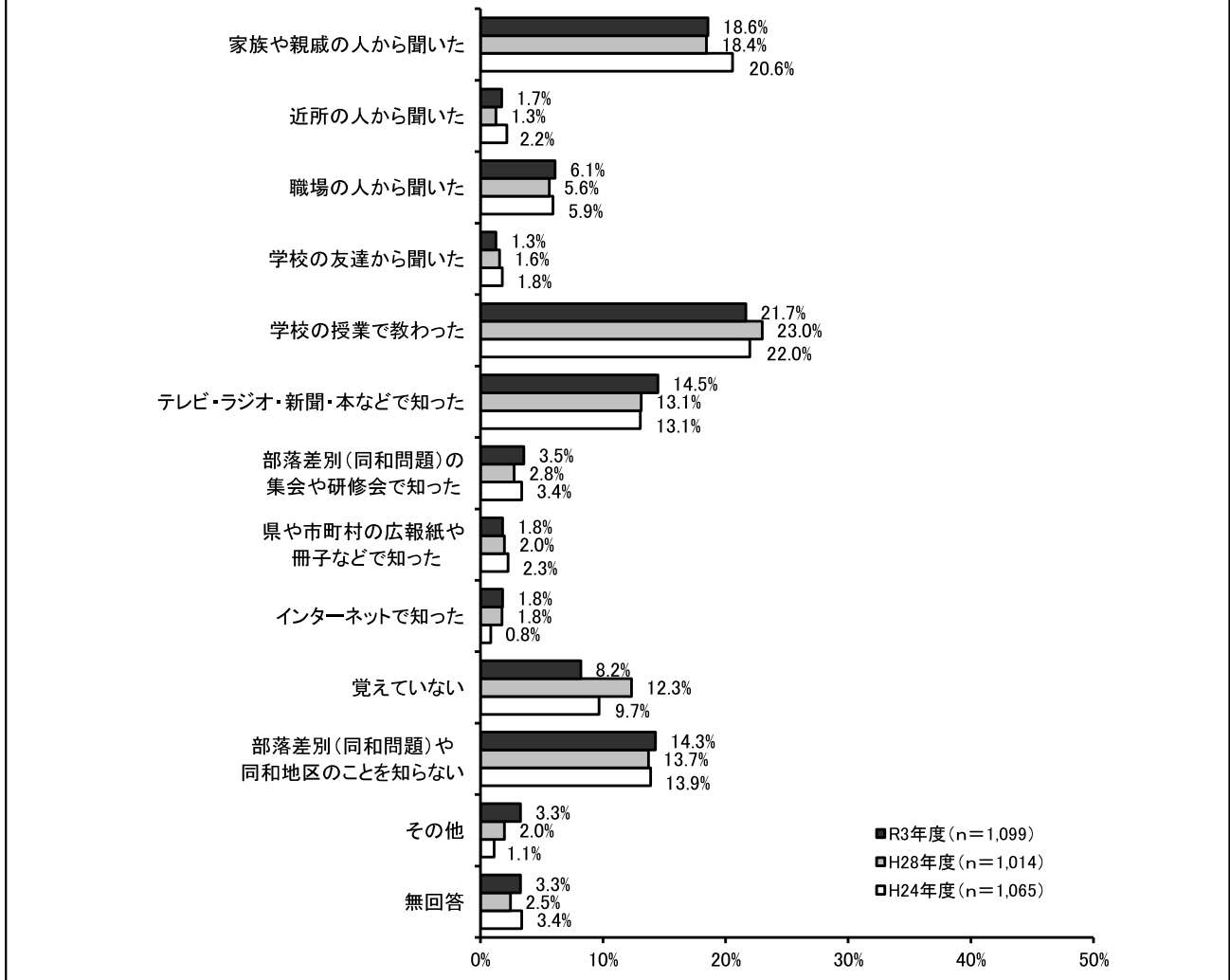
年代別



- いずれの年代においても不当な差別であることを「知っている」が最も高くなっている。
- 20歳代は不当な差別であることを「知らない」が48.1%と、他の年代に比べて高くなっている。

(5) 部落差別（同和問題）や同和地区をはじめて知ったきっかけ

問 20 あなたが部落差別（同和問題）や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

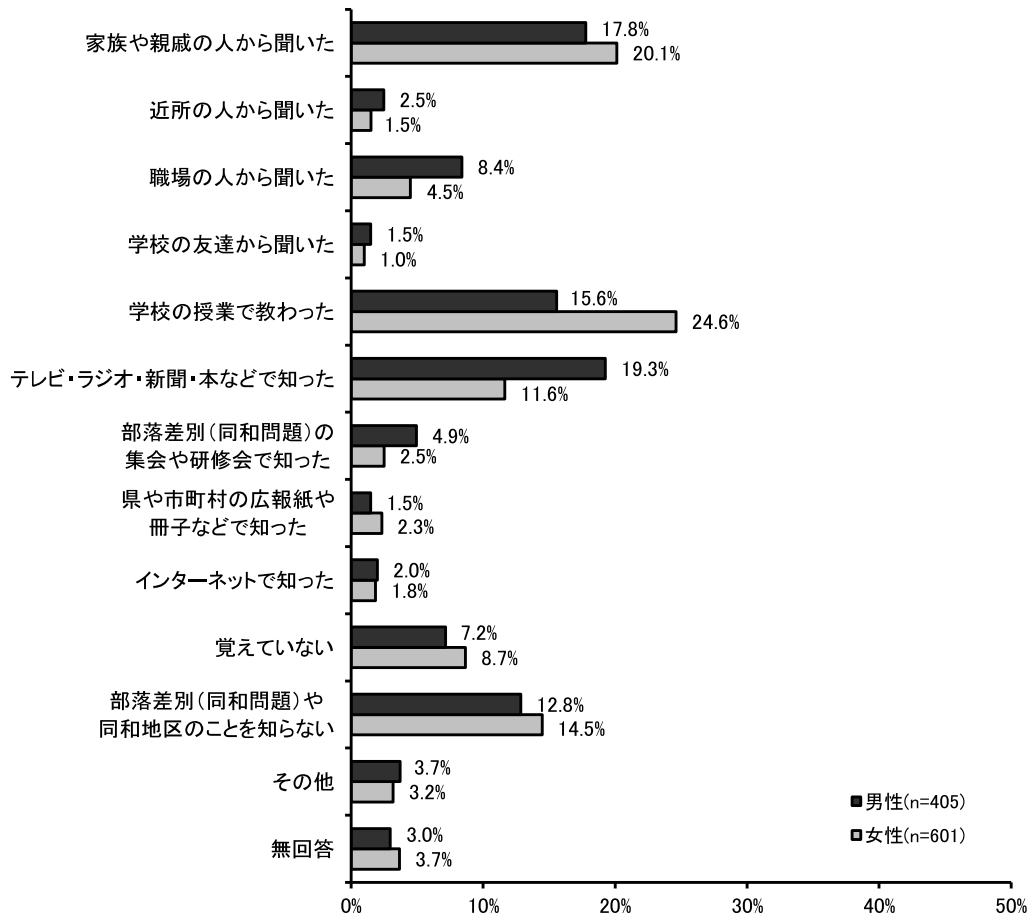


■「学校の授業で教わった」が21.7%で最も高く、次いで「家族や親戚の人から聞いた」が18.6%、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が14.5%の順となっている。

【前回・前々回比較】

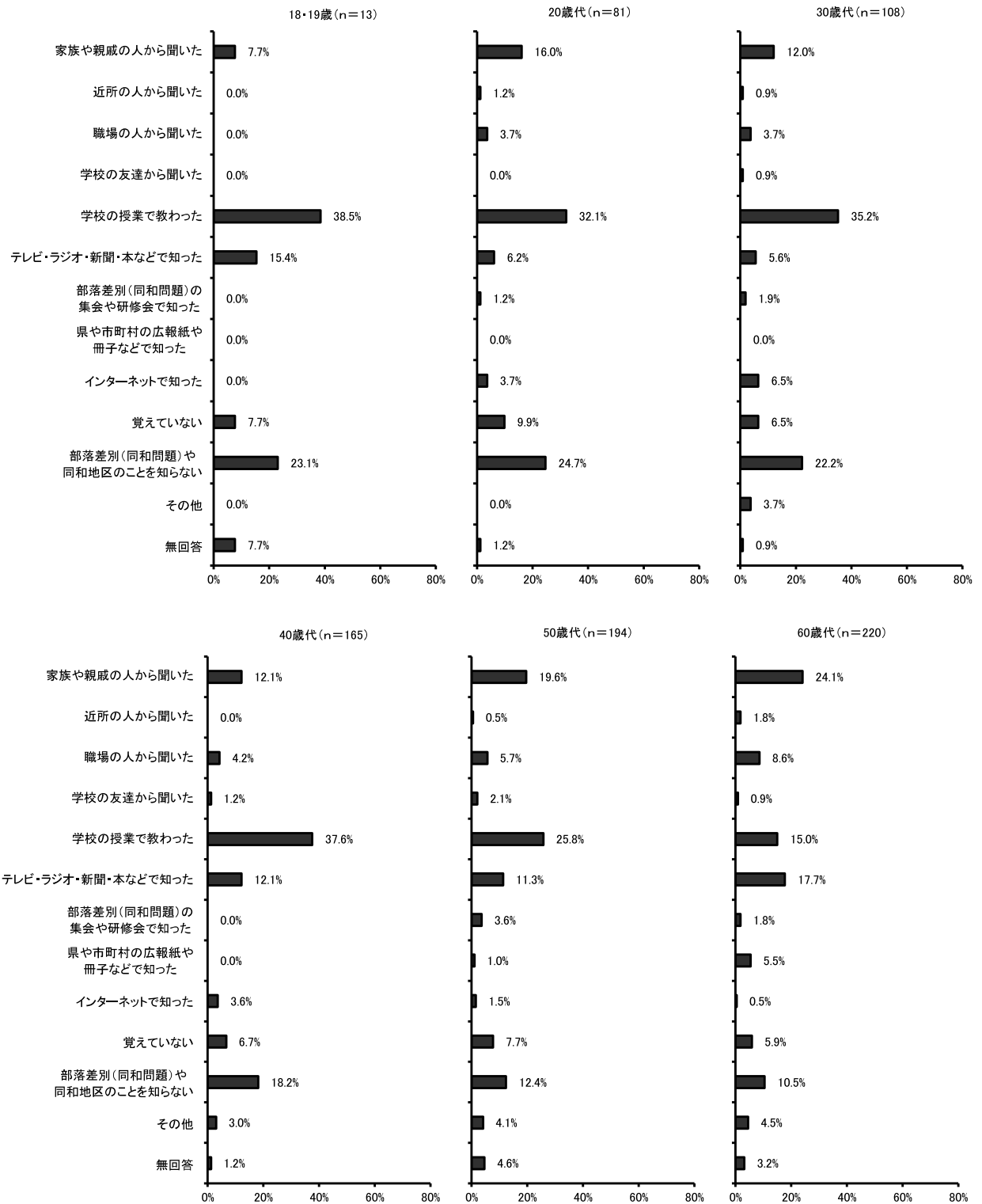
■前回、前々回同様、「学校の授業で教わった」が最も高く、「家族や親戚の人から聞いた」が次いで高くなっている。

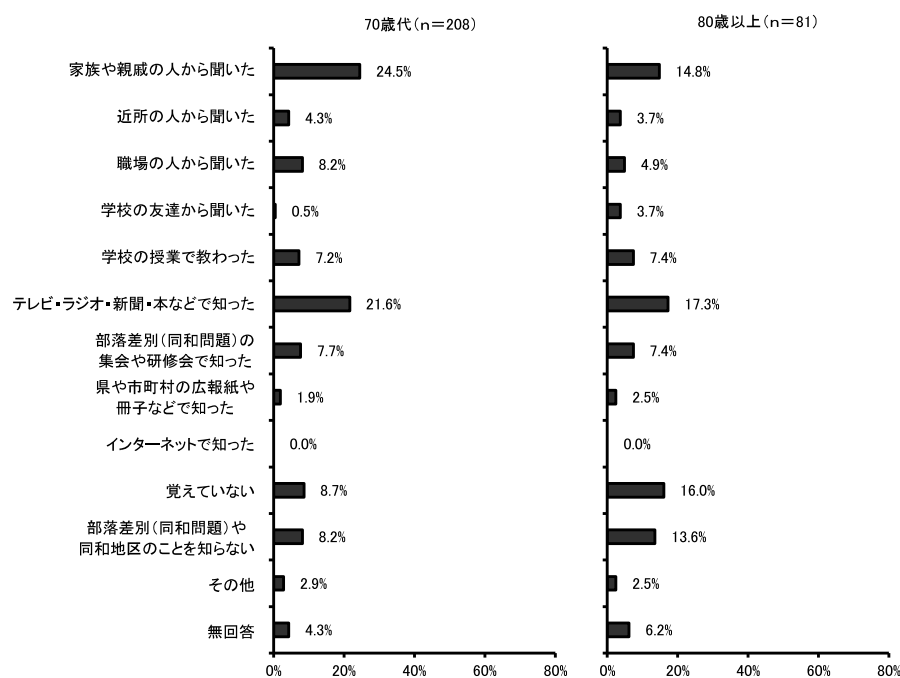
男女別



■女性では「学校の授業で教わった」が、男性では「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が最も高くなっている。

年代別



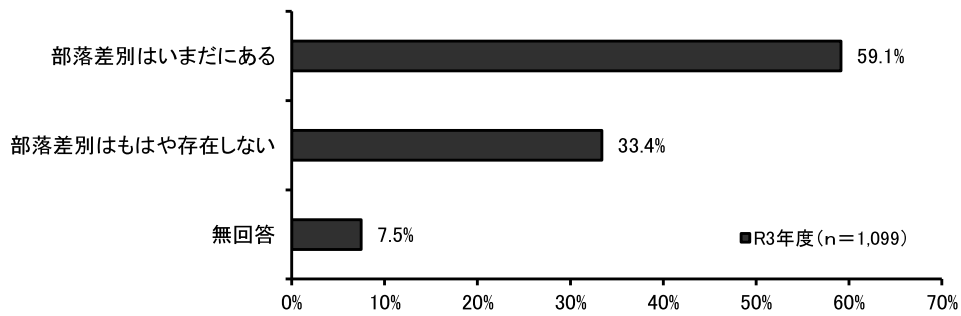


■ 50歳代以下は「学校の授業で教わった」が、60～70歳代は「家族や親戚の人から聞いた」が、80歳以上は「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が最も高くなっている。

■ 「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」は、60歳代以上で50歳代以下に比べて高くなっている。

(6) 部落差別の現状

問 21 現在でも部落差別があると思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

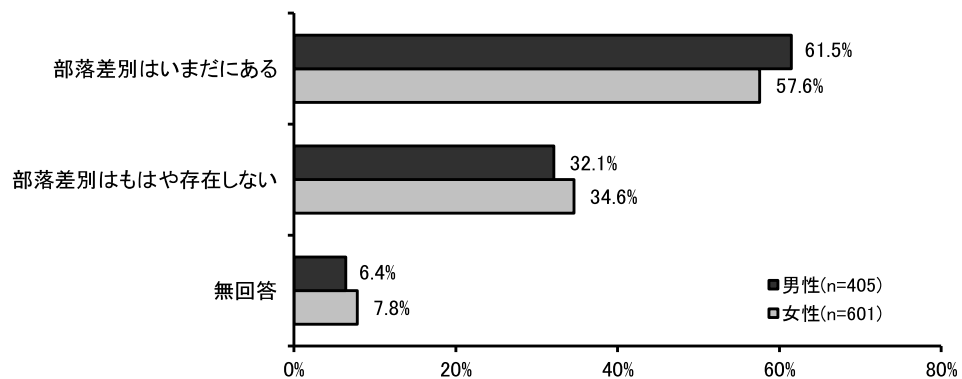


■「部落差別はいまだにある」は59.1%と「部落差別はもはや存在しない」よりも高くなっている。

【前回・前々回比較】

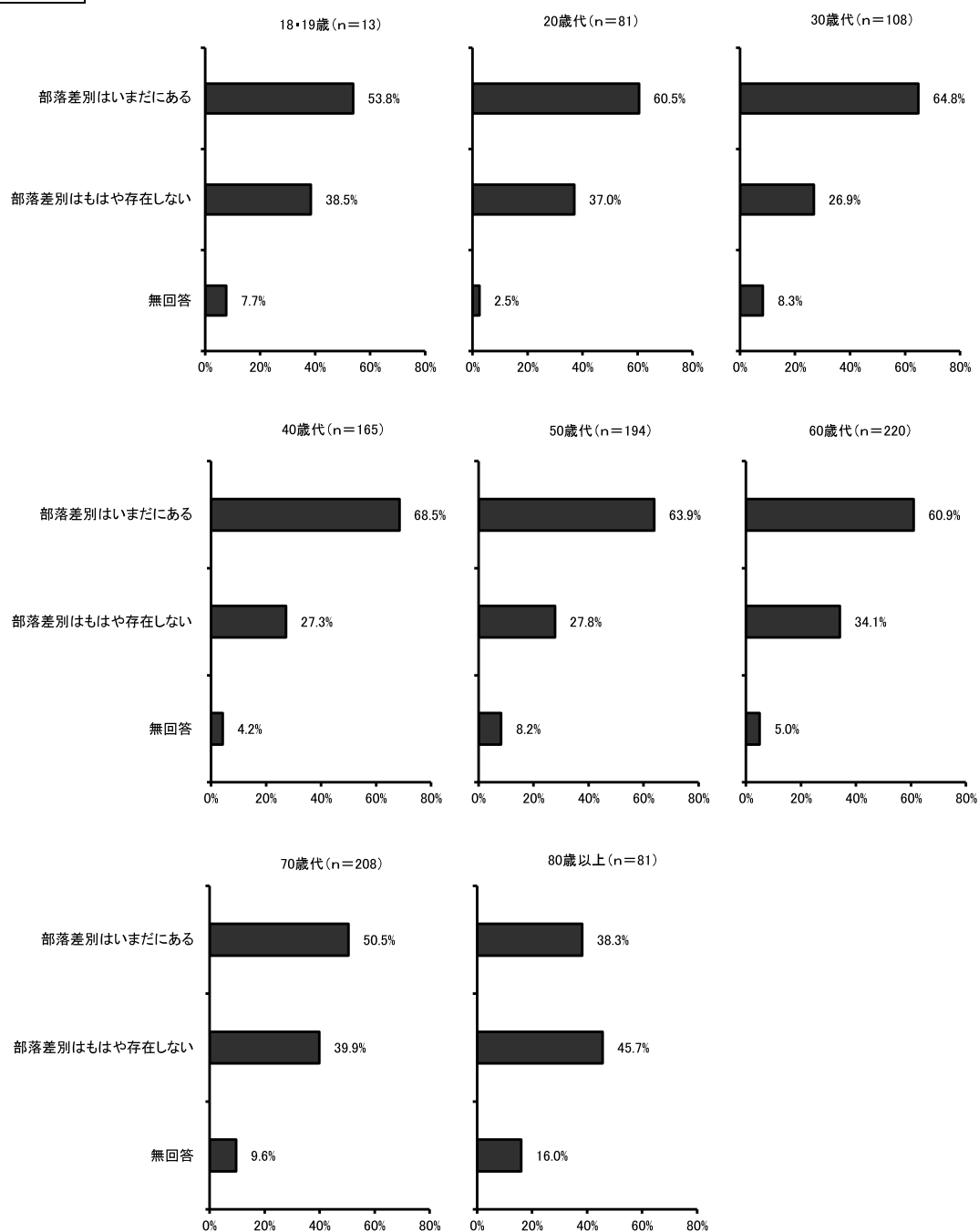
※新たに追加した質問のため、比較はできない。

男女別



■男女共に「部落差別はいまだにある」が高く、5割を超えている。

年代別

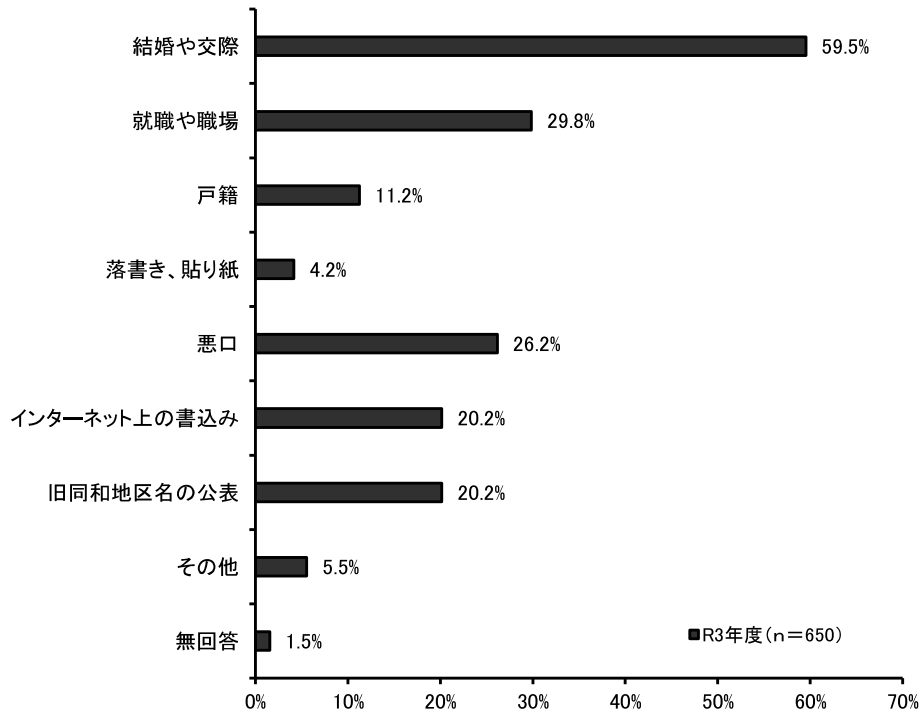


■70歳代以下は「部落差別はいまだにある」が最も高く、80歳以上は「部落差別はもはや存在しない」が45.7%と最も高くなっている。

■30～50歳代は「部落差別はもはや存在しない」が、他の年代に比べて低くなっている。

(7) 部落差別の内容

問 22 問 21 で「1 部落差別はいまだにある」を選択された方にお聞きします。どのような場面、事例で部落差別はあると思いますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

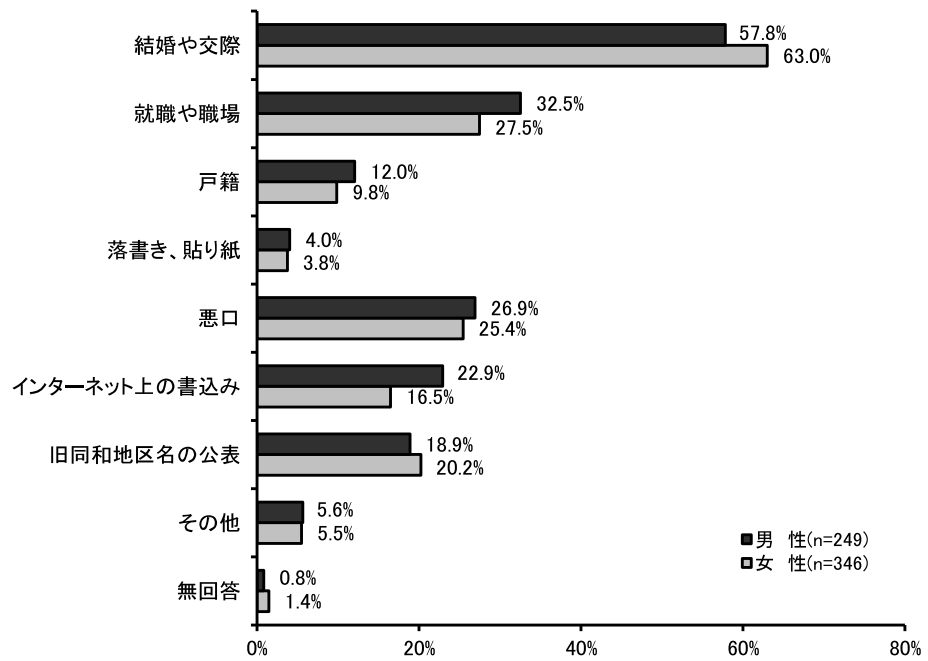


■ 「結婚や交際」が 59.5%と最も高く、次いで「就職や職場」が 29.8%、「悪口」が 26.2%の順となっている。

【前回・前々回比較】

※新たに追加した質問のため、比較はできない。

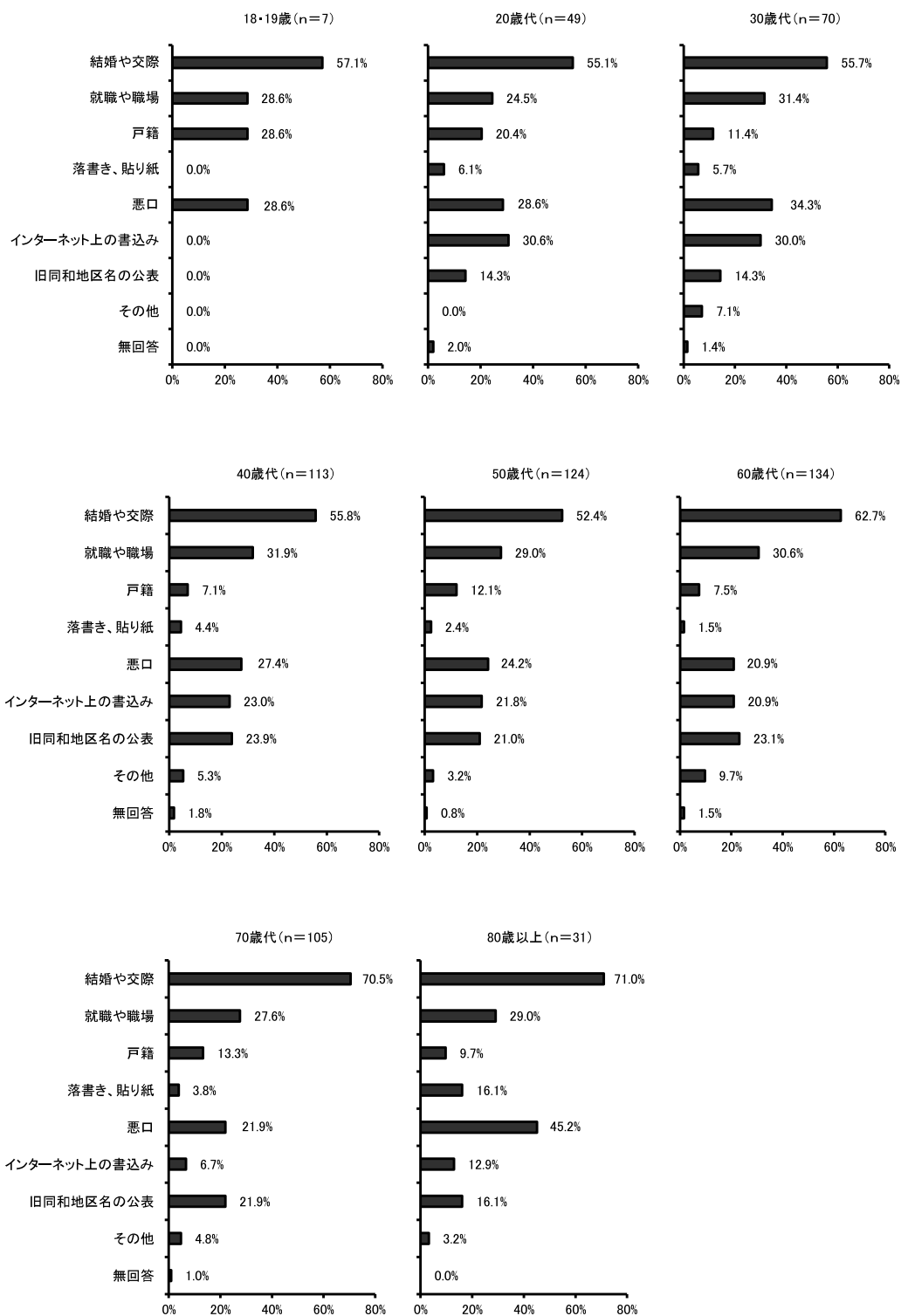
男女別



■男女共に「結婚や交際」が最も高く、5割を超えている。

■「結婚や交際」は、女性が63.0%で男性より5.2ポイント高く、「就職や職場」は、男性が32.5%で女性より5.0ポイント高くなっている。

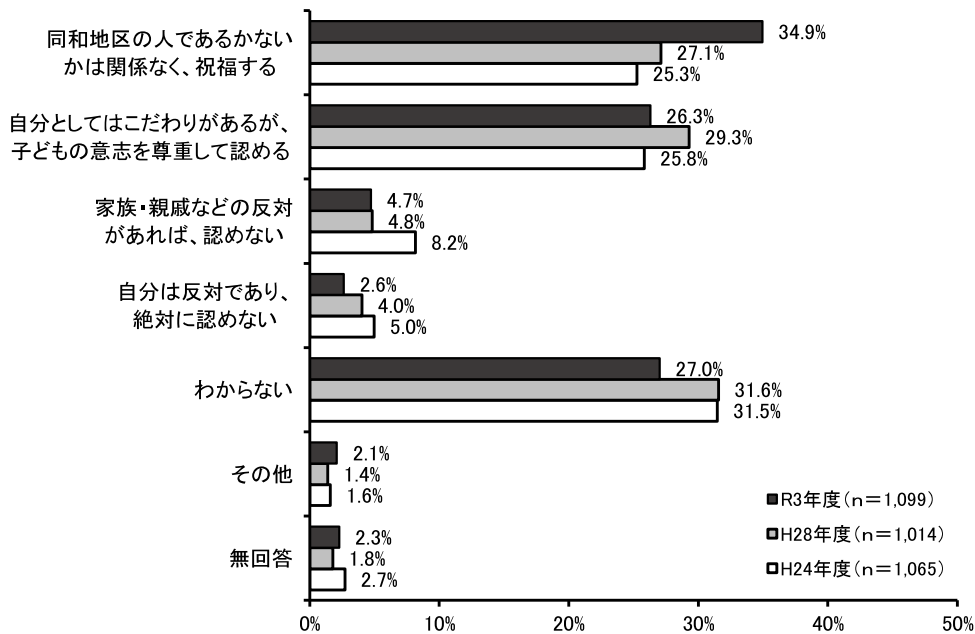
年代別



- いずれの年代においても「結婚や交際」が最も高く、70歳代以上では7割を超え、60歳代以下より高くなっている。
- 「インターネット上の書込み」は、20～30歳代で他の年代に比べて高くなっており、20歳代は「結婚や交際」に次いで高くなっている。

(8) 自分の子どもが同和地区出身の人と結婚すると知ったときの対応

問 23 あなたのお子さんが（いらっしゃる場合は、いると仮定してお考えください）、同和地区出身の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか。あなたの気持ちにいちばん近いものを次の中から 1つだけ選んで○をつけてください。



■ 「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」が34.9%と最も高く、次いで「わからない」が27.0%、「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意思を尊重して認める」が26.3%の順になっている。

■ 「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」と「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意思を尊重して認める」を合わせた“賛成”は61.2%と過半数を占めている。

■ 「家族・親戚などの反対があれば、認めない」と「自分は反対であり、絶対に認めない」を合わせた“反対”は7.3%となっている。

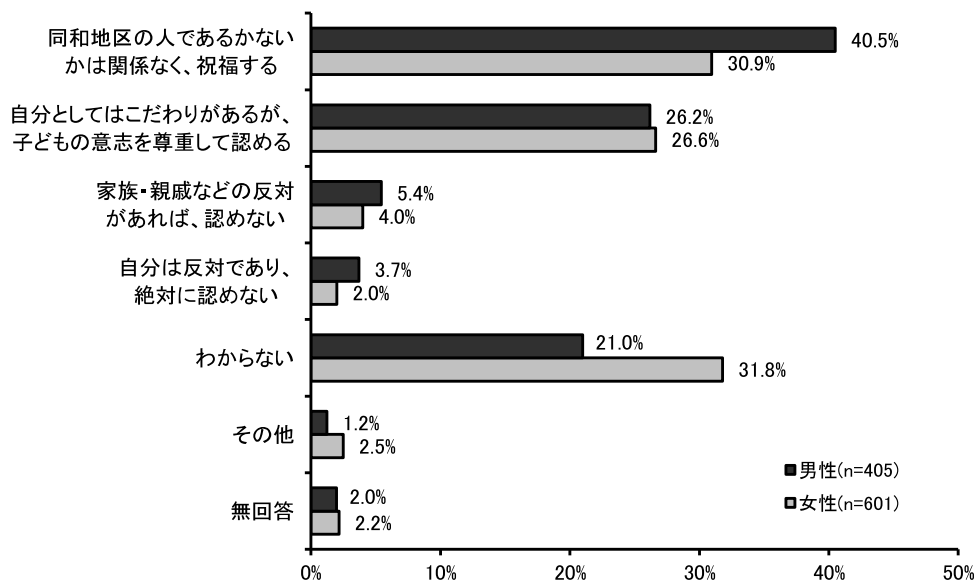
【前回・前々回比較】

■ 「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」は、前回の27.1%より7.8ポイント、前々回の25.3%より9.6ポイント増加している。

■ “賛成”は、前回の56.4%より4.8ポイント、前々回の51.1%より10.1ポイント増加している。

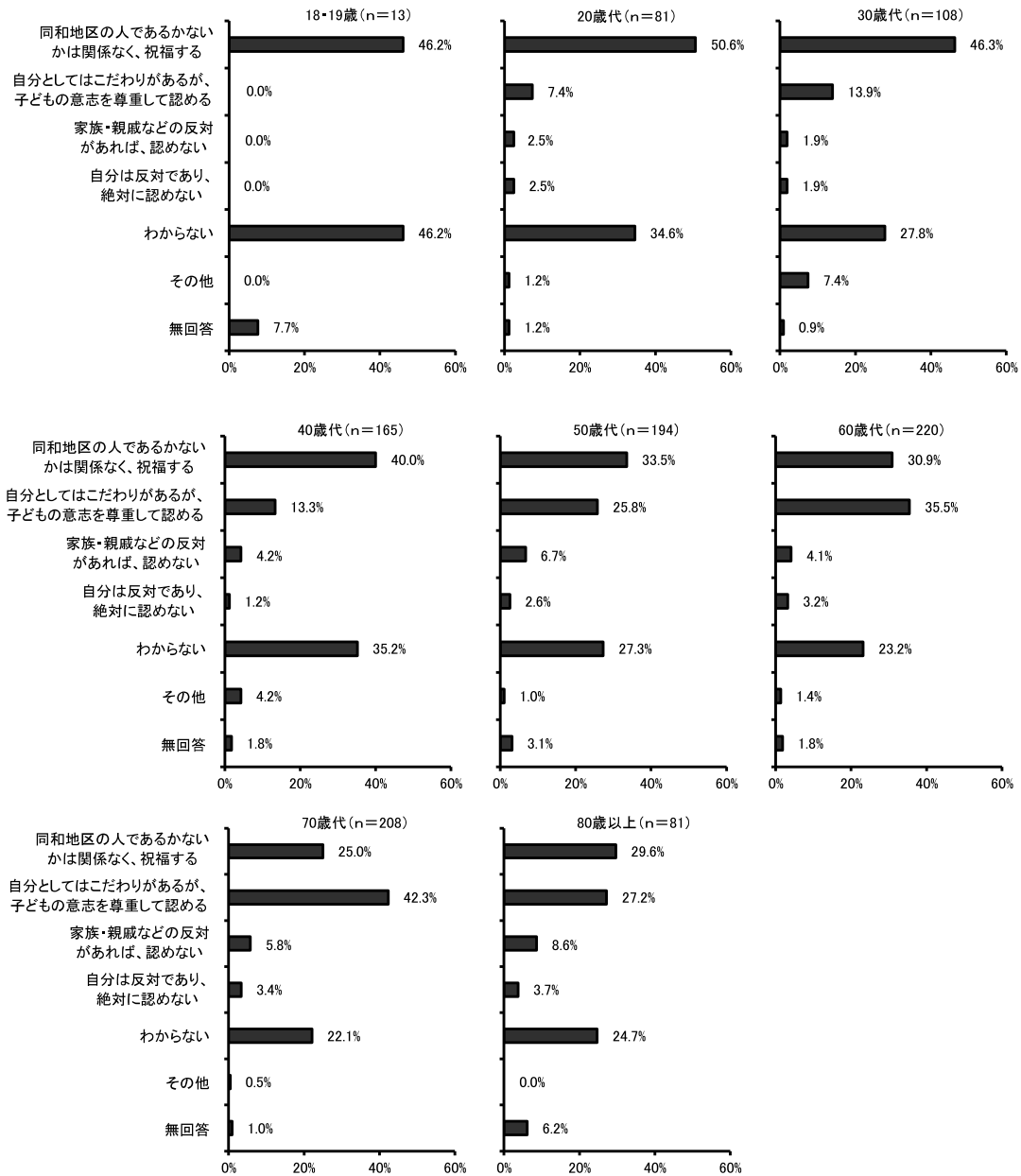
■ “反対”は、前回の8.8%より1.5ポイント、前々回の13.2%より5.9ポイント減少している。

男女別



- 男性は「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」が40.5%で最も高く、女性よりも9.6ポイント高くなっている。
- 女性は「わからない」が31.8%で最も高く、男性よりも10.8ポイント高くなっている。
- “賛成”は、男性が66.7%、女性が57.5%で、男性が9.2ポイント高くなっている。
- “反対”は、男性が9.1%、女性が6.0%で、男性が3.1ポイント高くなっている。

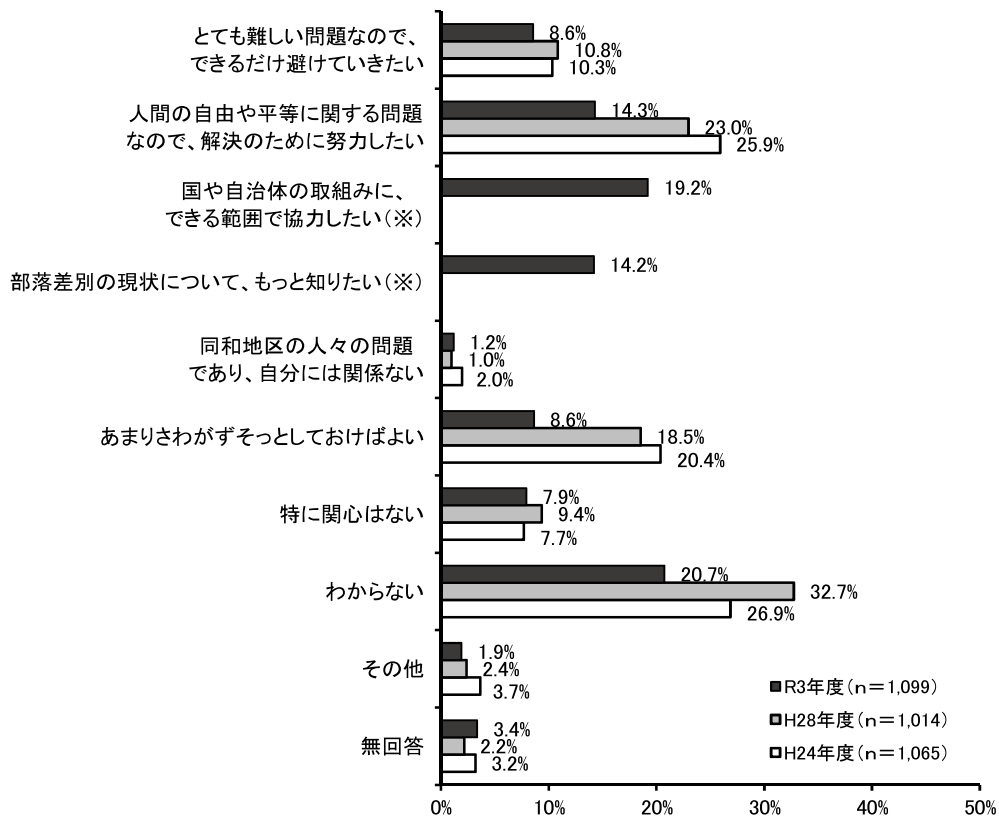
年代別



- 20～50 歳代、80 歳以上では「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」が最も高くなっており、若い年代ほど高い傾向がみられる。
- “賛成” は、70 歳代で 67.3%、60 歳代で 66.4% と他の年代よりも高くなっている。
- “反対” は、50 歳代以上は 40 歳代以下に比べて高くなっている。

(9) 部落差別（同和問題）についての考え

問 24 部落差別（同和問題）について、あなたはどのように考えますか。あなたの考え方にいちばん近いものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



■「わからない」が20.7%と最も高く、次いで「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」が19.2%、「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」が14.3%の順となっている。

■「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」と「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」を合わせた“解決のために努力や協力をしたい”は33.5%となっている。

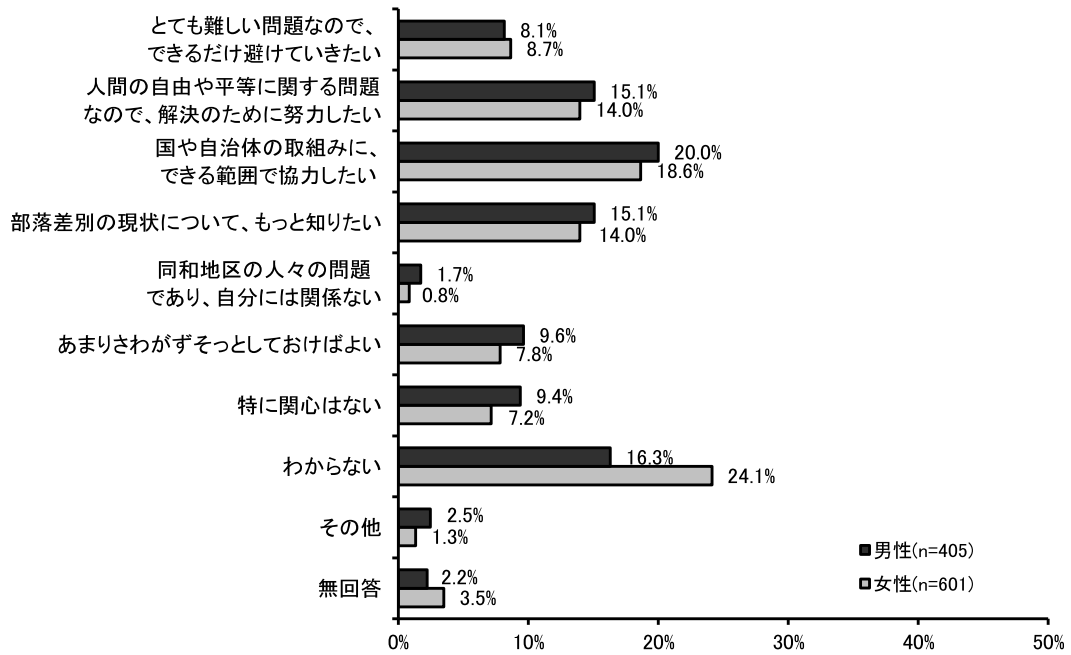
【前回・前々回比較】

■前回、最も高かった「わからない」は12.0ポイント、次いで高かった「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」は8.7ポイント、3番目の「あまりさわがずそっとしておけばよい」は9.9ポイント、それぞれ前回から減少している。

■今回選択肢を追加した「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」は2番目に高い19.2%、「部落差別の現状について、もっと知りたい」は4番目に高い14.2%を占めている。

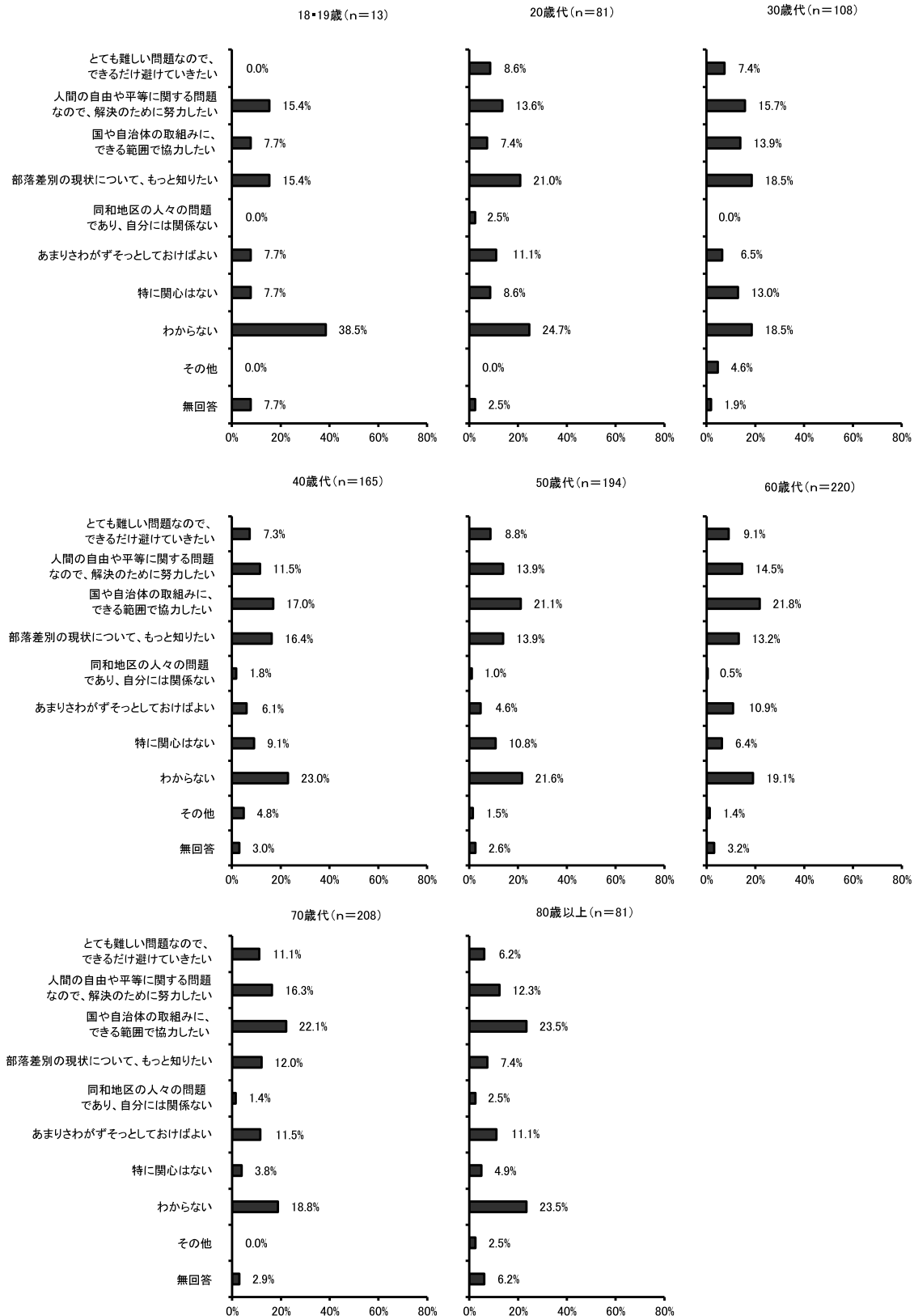
※「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」「部落差別の現状について、もっと知りたい」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

男女別



■男性では「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」が20.0%で最も高く、女性では「わからない」が24.1%で最も高く、男性より7.8ポイント高くなっている。

年代別

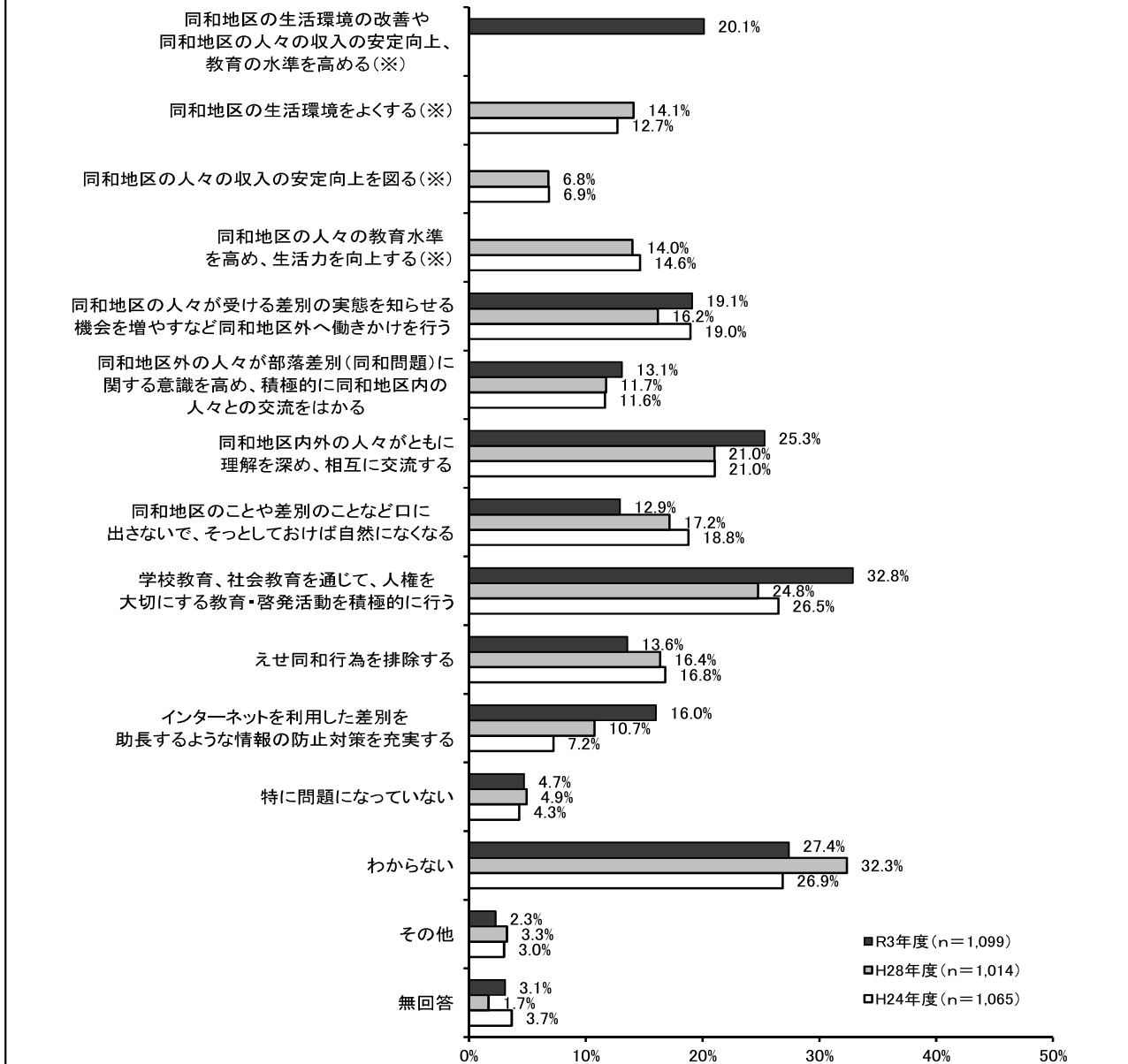


■ 「わからない」を除くと、40歳代以上では「国や自治体の取組みに、できる範囲で協力したい」が最も高く、30歳代以下では「部落差別の現状について、もっと知りたい」が最も高くなっている。

■ “解決のために努力や協力をしたい”は、50歳代以上は40歳代以下よりも高くなっている。

(10) 部落差別（同和問題）を解消する方法

問 25 部落差別（同和問題）を解消するためには、どうしたらよいとお考えですか。重要だと思うものを次の中から3つまで選んで○をつけてください。



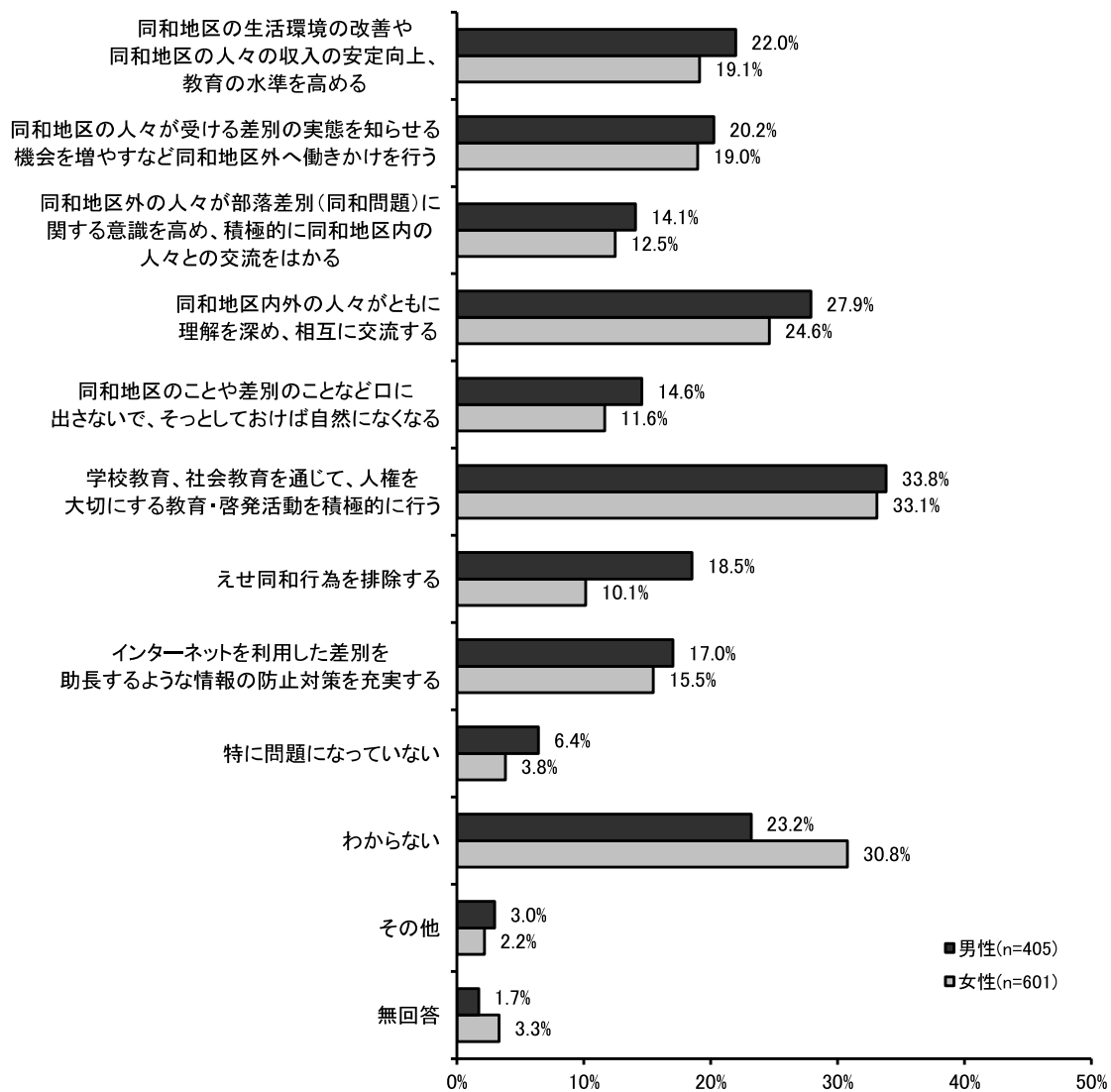
■「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」が32.8%と高く、次いで「わからない」が27.4%、「同和地区内外の人々がともに理解を深め、相互に交流する」が25.3%の順となっている。

【前回・前々回比較】

■前回、前々回同様、「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」、「わからない」、「同和地区内外の人々がともに理解を深め、相互に交流する」が高くなっている。

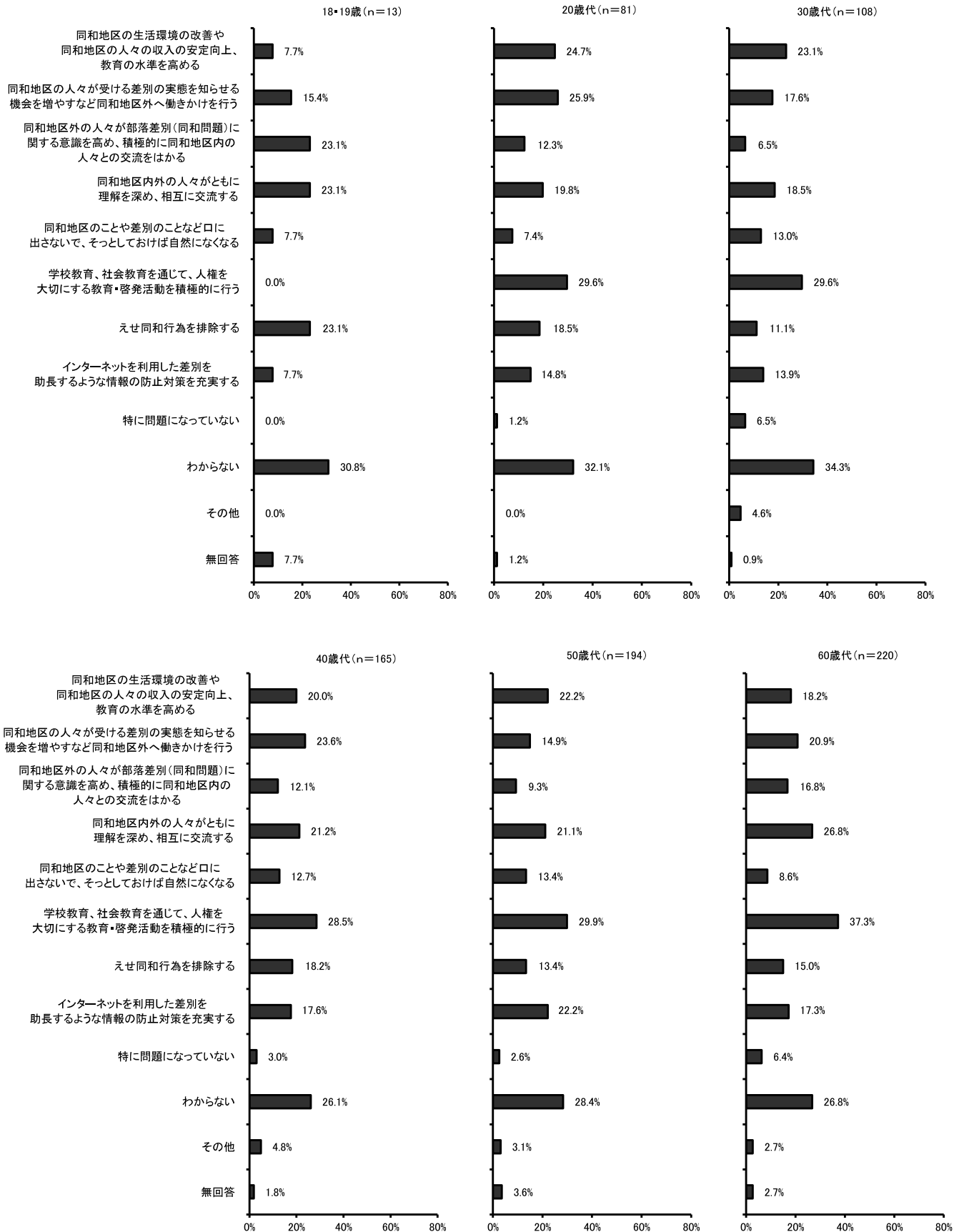
※前回調査の「同和地区の生活環境をよくする」、「同和地区の人々の収入の安定を図る」及び「同和地区の人々の教育水準を高め、生活力を向上する」を統合し、「同和地区の生活環境の改善や同和地区の人々の収入安定向上、教育の水準を高める」としている。

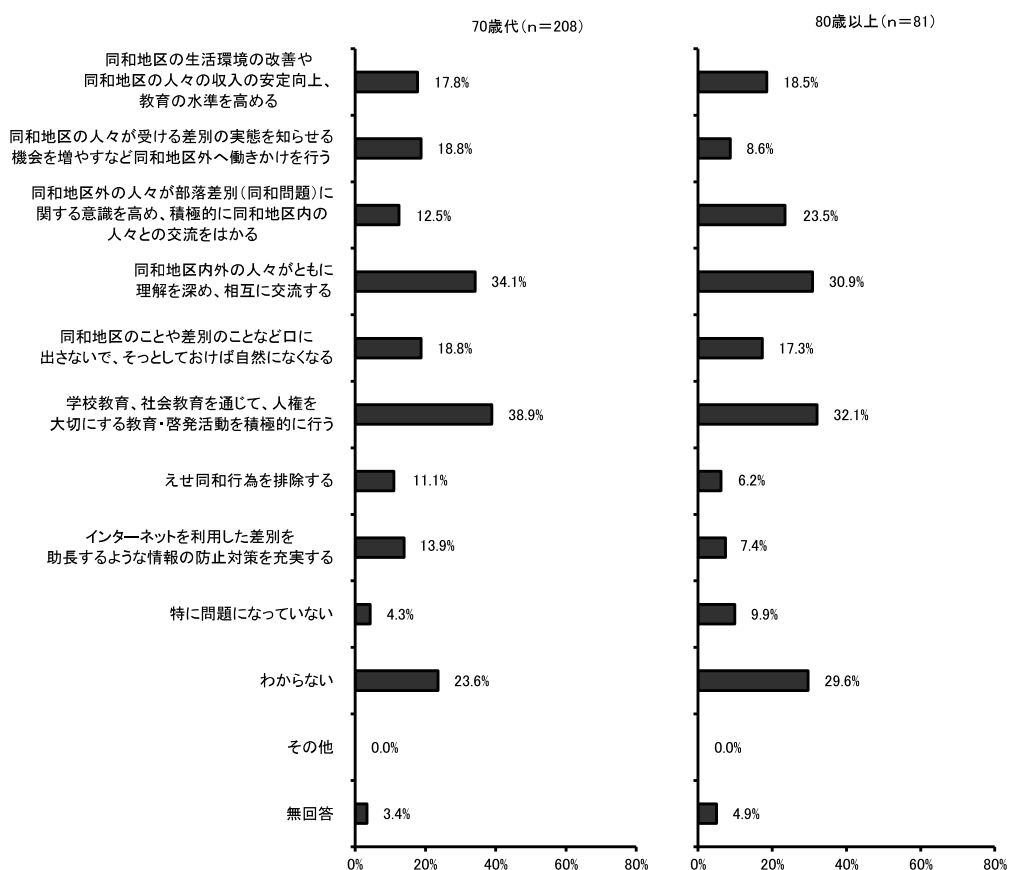
男女別



■男女共に「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」が最も高くなっている。

年代別

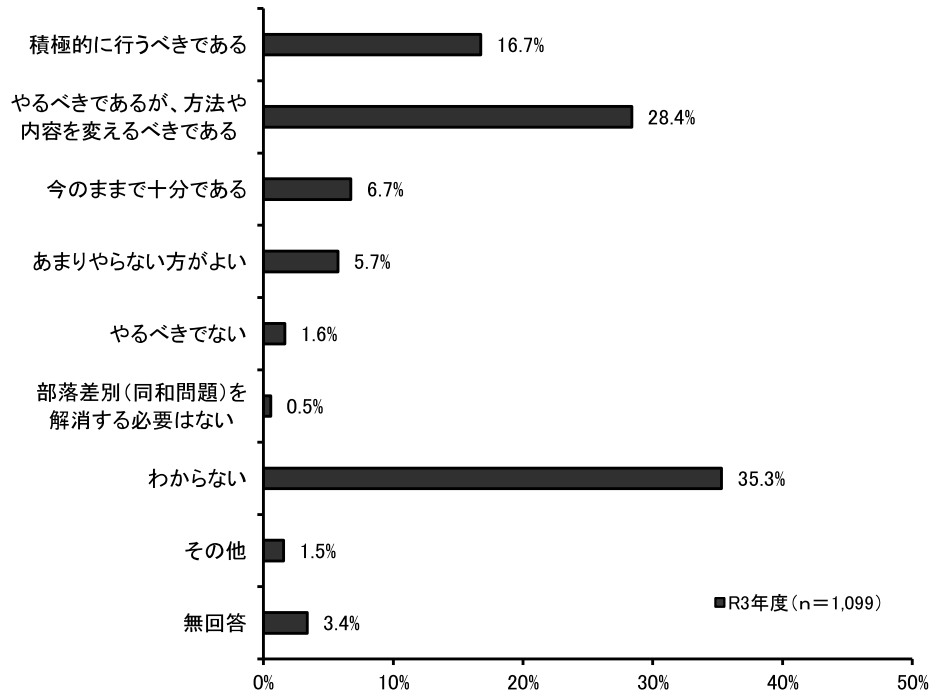




- 「わからない」を除くと、いずれの年代においても「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にす教育・啓発活動を積極的に行う」が最も高くなっている。
- 60歳代以上では「同和地区内外の人々がともに理解を深め、相互に交流する」が「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にす教育・啓発活動を積極的に行う」に次いで高くなっている。
- 50歳代以下では「同和地区の生活環境の改善や同和地区の人々の収入の安定向上、教育の水準を高める」が60歳代以上よりも高くなっている。

(11) 部落差別（同和問題）を解消するための教育・啓発に関する認識

問 26 部落差別（同和問題）を解消するための教育・啓発活動について、今後どうしたらよいと考えますか。あなたの考え方にいちばん近いものを次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



■ 「わからない」が35.3%と最も高く、次いで「やるべきであるが、方法や内容を変えるべきである」が28.4%、「積極的に行うべきである」が16.7%の順となっている。

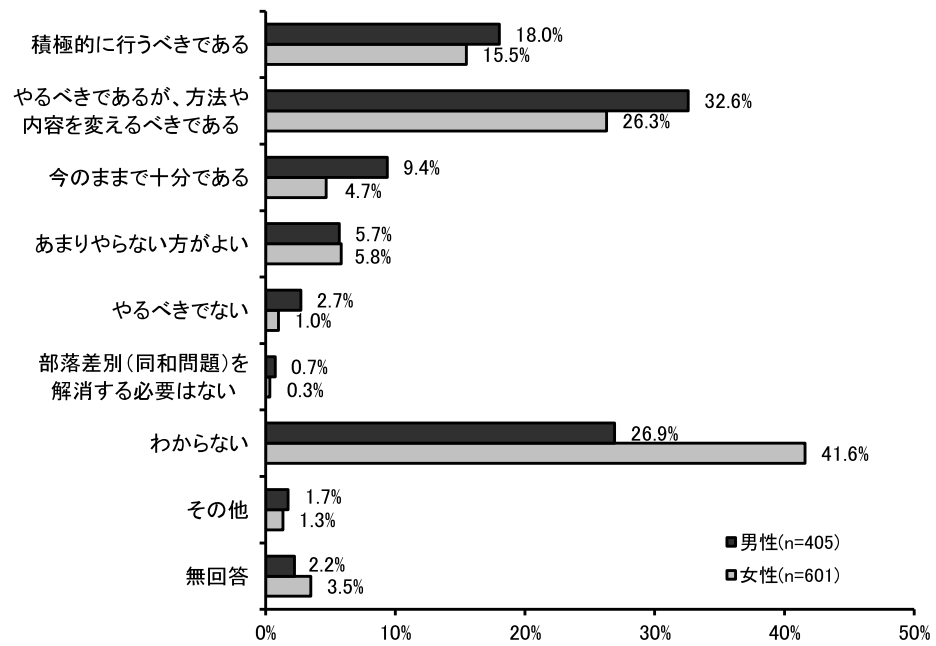
■ 「やるべきであるが、方法や内容を変えるべきである」と「積極的に行うべきである」を合わせた“何かしら教育・啓発を行う方がよい”は45.1%となっている。

■ 「あまりやらない方がよい」と「やるべきでない」を合わせた“教育・啓発は行わない方がよい”は7.3%となっている。

【前回・前々回比較】

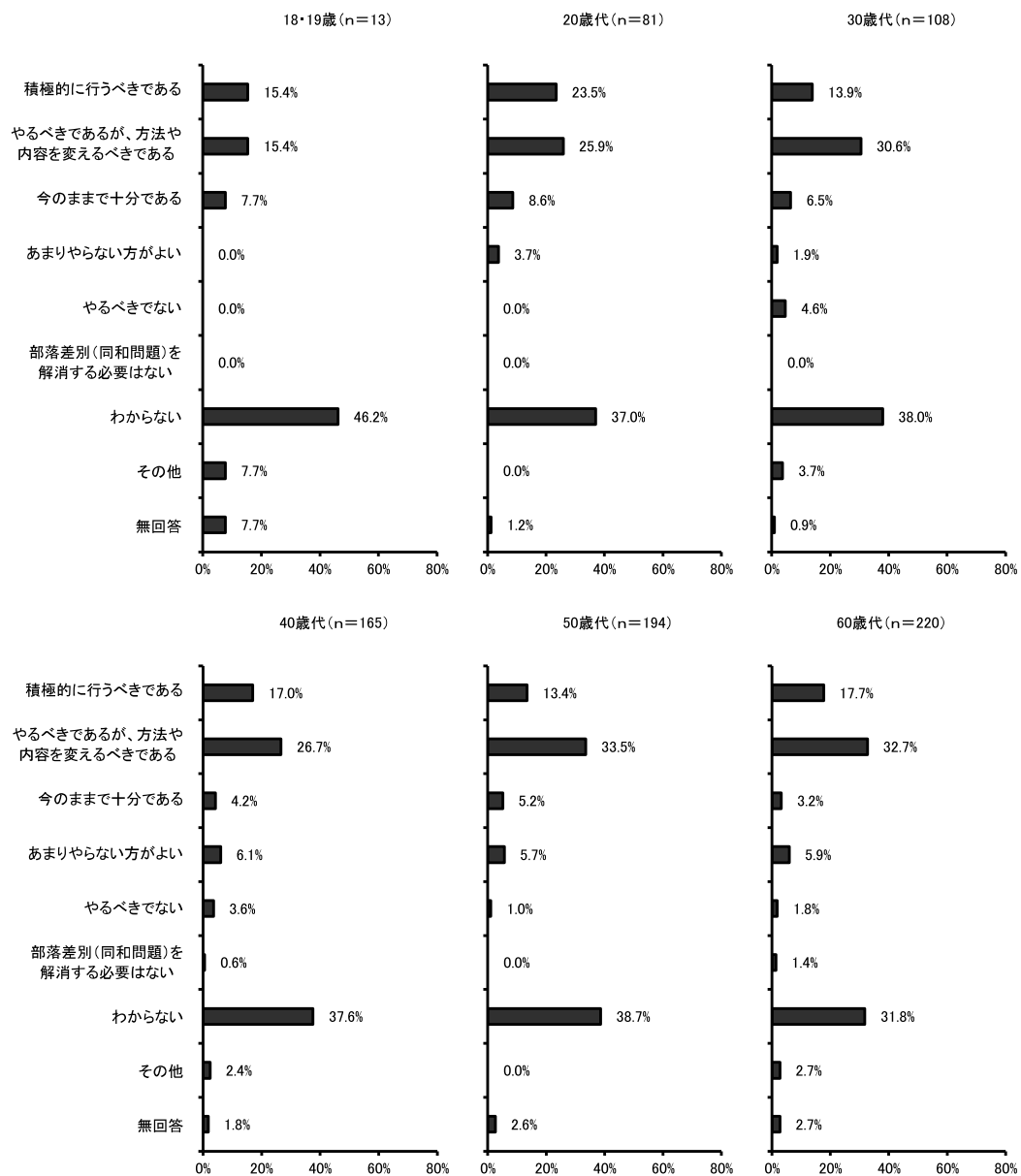
※新たに追加した質問のため、比較はできない。

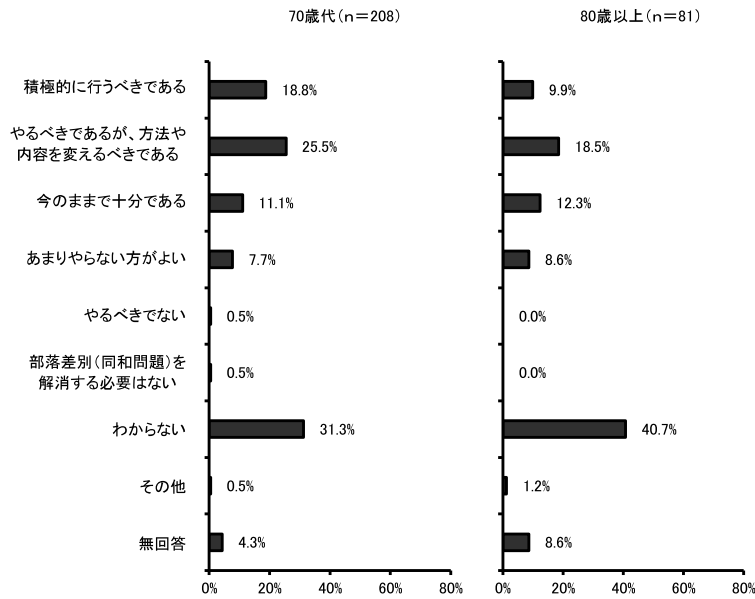
男女別



- 男性では「やるべきであるが、方法や内容を変えるべきである」が最も高く、女性では「わからない」が最も高くなっている。
- “何かしら教育・啓発を行う方がよい”は男性が50.6%、女性が41.8%で、男性が8.8ポイント高くなっている。
- “教育・啓発は行わない方がよい”は男性が8.4%、女性が6.8%で、男性が1.6ポイント高くなっている。

年代別





- 「わからない」を除くと、いずれの年代においても「やるべきであるが、方法や内容を変えるべきである」が最も高くなっている。
- “何かしら教育・啓発を行う方がよい”は、70歳代以下では4割を超えているが、80歳以上は28.4%と他の年代よりも低くなっている。